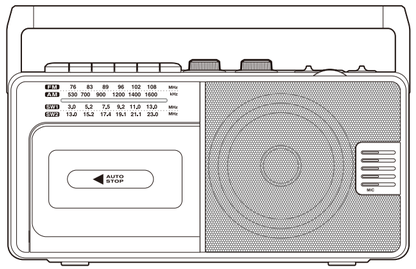
ELPA

AM/FM/SWラジオカセットレコーダー

ADK-RCR300



この度は弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は大切に保管し、必要な時にお読みください。

KA170810A

安全上のご注意　必ずお守りください

ご使用の前にこの「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のように区分し、説明しています。

警告	この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示します。
注意	この表示の注意事項を守らなかった場合、人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を表示します。

⚠警告

本体について

分解、改造しない
機器が故障し、やけどや火災の原因になります。

幼児やペットなどに誤って触らせない
やけどや大けが、火災の原因になることがあります。

本体内部に水や異物を入れない
機器が故障し、火災や感電の原因になります。

交流100Vで使用する
AC100V以外での使用は、火災・感電や破損の原因となります。

通風口をふさがない
内部に熱がこもり、火災の原因となります。
通気の良い場所に正しく設置してください。

電池について

- ●電池が液漏れしたときは素手で液にさわらないでください。液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。
- ●電池の液が目に入ったときは、こすらずに多量のきれいな水で洗い流し、ただちに医師の治療を受けてください。
- ●火中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しないでください。
- ●乾電池は充電しないでください。
- ●指定された種類以外の電池は使用しないでください。
- ●⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
- ●電池を金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- ●使用済みの電池は必ず本体から取り出してください。
- ●長期間ご使用にならない時は、電池を取り外して保管してください。
- ●新・旧および異なる種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ●液漏れした電池は使用しないでください。
- ●被覆のはがれた電池は使用しないでください。

⚠注意

本体について

異常に温度が高くなるところに置かない
- ・機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- ・夏季の車中や直射日光のあたるところ、暖房器具の近くでは特にご注意ください。

磁気の影響を受けやすいものを近づけない
- ・スピーカーの磁気の影響でキャッシュカードや定期券、時計などが正しく働かなくなることがあります。

音量を上げすぎない
- ・耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと聴力に悪い影響を与えます。

不安定な場所に置かない
- ・振動、衝撃の多い場所、ぐらついた台などの上、傾いた所など不安定な場所に置くと、落下の恐れがあり、故障の原因になります。

本体をベンジン、シンナーなどで拭かない
- ・変形、変色の原因になります。

電池について

- ●火のそばや直射日光のあたる場所、炎天下の車中など、高温になる場所で使用、保管、放置しないでください。
- ●電池を落下させたり、投げつけたり強い衝撃を与えないでください。
- ●電池の外装フィルムをはがしたり、傷つけたりしないでください。
- ●電池に表示されている注意事項もあわせてお読みください。
- ●使用済みの乾電池は、環境保全のため、不燃物としてお住まいの地域の所定の方法で処分するか、乾電池の回収を行なっている販売店にお持ちください。

使用上のご注意

本 機

・本機のスピーカーには強力な磁石を使っていますので、次のようなものは本機のそばに置かないでください。

●時計　●クレジットカードなどの磁気カード
●カセットテープなどの磁気テープ

電源コードについて

- ・電源コードの上に物を載せたり、ステップルを打ち込まないでください。【ショート・感電・火災・故障の原因】
- ・電源コードの抜き差しは必ずプラグ本体を持って行ってください。【断線による火災の原因】
- ・定期的に電源プラグを抜き、乾いた布でホコリを取り除いてください。また、長期間ご使用されない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・本製品に付属の電源コードは他の機器に使用しないでください。
- ・電池で使用する場合は、電源コードをコンセント及び本体電源ジャックの両方から取り外してください。

故障かな?と思ったら

音が出ない
- ・電源コードが奥まで差し込まれていますか?
- ・電池が入っていますか?消耗していませんか?
- ・電池が正しい向きで入れられていますか?
- ・音量が最小になっていませんか?
- ・イヤホンが接続されたままになっていませんか?
- ・イヤホンが奥まで差しこまれていますか?
- ・【機能切換スイッチ】を正しい位置に切り換えていますか?

雑音が入る
- ・電池が消耗していませんか?
- ・近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用していませんか?
- ・テレビやパソコン、蛍光灯の近くでAM放送を受信していませんか?

録音ボタンが押せない
- ・カセットテープのつめが折れていませんか?

お手入れ

汚れた時は柔らかい布で乾拭きしてください。
汚れがひどい時は、中性洗剤を含ませた布で拭いてから乾拭きしてください。
※ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤、台所用洗剤や化学ぞうきんは使用しないでください。

■テープの音を良い音でお楽しみいただくために
定期的に市販のクリーニングテープを使って、清掃されることをおすすめします。
※弊社ではクリーニングテープの取扱はございません。

仕　様

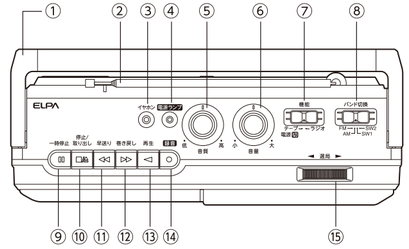
同 調 方 式：デジタル同調
トラック方式：モノラル
録 音 方 式：DCバイアス
消 去 方 式：マグネット消去
スピーカー：直径100mm　丸型　8Ω 3W
マ イ ク：内蔵コンデンサーマイク
出 力 端 子：φ3.5mmステレオミニジャック　※音声はモノラルです
受信周波数：FM:76～108MHz/AM:522～1620kHz
　SW1:3.0～13.0MHz/SW2:13.0～23.0MHz
電　　源：AC100V 50/60Hz　DC6V 単一形乾電池×4本(別売)
消 費 電 力：8W
外形寸法(約)：幅300×高さ154×厚さ118(mm)(最大値)
質　　量：約1400g(電池除く)
付 属 品：AC電源コード(約1.5m)
電池持続時間：※アルカリ乾電池使用時
(JEITA)　※電池の性能、使用条件により電池持続時間は短くなる場合があります。

	FM	AM	SW	カセットテープ 再生時	カセットテープ 録音時
スピーカー使用時	120時間	120時間	120時間	70時間	50時間
イヤホン使用時(目安)	180時間	170時間	170時間	90時間	60時間

※仕様及び外観・外装は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
※製造には万全を期しておりますが、万一不具合のあった場合は良品と交換いたします。それ以外の責はご容赦ください。

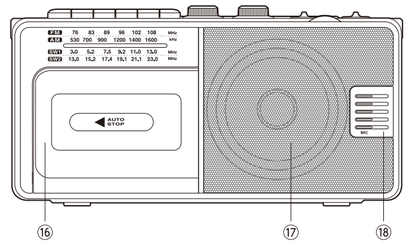
各部の名称

【上面】



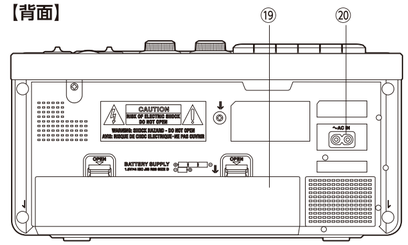
①ハンドルフック
②FMロッドアンテナ
③イヤホンジャック
④電源ランプ
⑤音質調整つまみ
⑥音量調整つまみ
⑦機能切換スイッチ
⑧バンド切換スイッチ
⑨一時停止ボタン
⑩停止/取り出しボタン
⑪早送りボタン
⑫巻き戻しボタン
⑬再生ボタン
⑭録音ボタン
⑮選局ダイヤル

【正面】



⑯開閉カバー
⑰スピーカー
⑱内蔵マイク

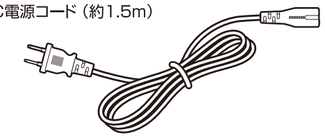
【背面】



⑲電池ボックス
⑳AC電源ジャック

■付属品

AC電源コード（約1.5m）

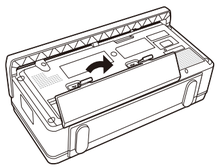


乾電池で使用する場合

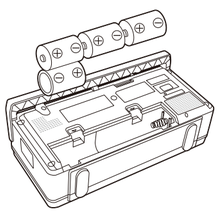
下記の手順で本体に電池を入れて使用できます。

■電池の入れ方

①本体背面の電池カバーを外します。



②単一形乾電池×4本を本体の⊕⊖表示に従い正しくセットします。



③電池カバーを元通りに戻します。

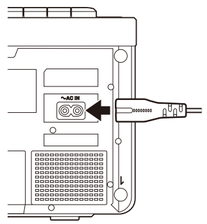
■電池交換時期の目安

- ●音がひずんだり、小さくなったとき
- ●テープの再生速度が遅くなったとき
- ●ラジオが受信しにくくなったとき
- ●電源が入らなくなったとき

乾電池交換の際は、全て新しい乾電池に交換してください。

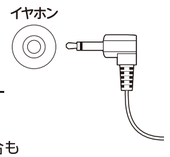
AC電源で使用する場合

本機 背面のAC電源ジャックに付属AC電源コードを接続しプラグを壁のコンセント等に差します。



イヤホンで聴く

市販のイヤホンを本機上面のイヤホンジャックに奥までしっかり差し込みます。



※イヤホンを接続するとスピーカーからの音声は出力されません。
※音声はモノラルです。
ステレオイヤホンを接続した場合も両耳でモノラル音声が再生されます。
※地デジTV用片耳イヤホンはご使用になれません。
※再生中に接続するときは、音量を下げてください。
※録音時にハウリング（ピーという音）が起きたら、イヤホンを内蔵マイクから離すか音量を下げてください。

ラジオを聴く

1 電源を入れる

機能切換スイッチを「ラジオ」に合わせます。
※電源ランプが赤く点灯します。

2 バンドを切り換える

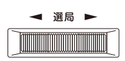
バンド切換スイッチを「AM」「FM」または「SW1」「SW2」に合わせます。

3 音量を調整する

音量調整つまみをまわして音量を調整します。

4 選局する

選局ダイヤルを回してお好みの放送を選びます。



5 アンテナを調節する

FM/SW（短波）放送

ロッドアンテナを伸ばして長さ、角度を調整してください。

AM放送

本体の向きを最も受信状態の良い方向へ向けてください。

※建物や乗り物の中では電波が弱まり、聞こえにくくなることがあります。できるだけ窓際でお使いください。

6 音質を調整する

お好みに合わせて聴きやすい位置に調整してください。

7 電源を切る

機能切換スイッチを「テープ」に合わせます。

ラジオNIKKEIを受信される場合

（例）ラジオNIKKEI第1放送を聴く場合
①バンド切換スイッチをSW1に切り換えます。
②選局ダイヤルをまわし、周波数を3.925MHzに合わせます。

※時間帯や季節、周囲の環境により受信が困難な場合があります。その場合は、他の周波数でお試しください。

●ラジオNIKKEI第1放送（3つの周波数があります）
受信周波数　3.925MHz / 6.055MHz / 9.595MHz

●ラジオNIKKEI第2放送（3つの周波数があります）
受信周波数　3.945MHz / 6.115MHz / 9.760MHz

録音する TYPEI（ノーマル）テープ専用

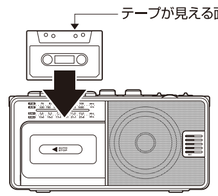
<ラジオを録音する場合>

1 ラジオを選局する

機能切換スイッチを「ラジオ」に合わせて録音したい局を受信します。

2 録音するカセットテープを入れる

テープを聴く2の手順同様に、テープを入れます。



※ノーマルポジションテープをお使いください。

3 録音ボタンを押して録音を開始する

※録音ボタンを押すと再生ボタンも一緒に下がります。

4 録音を終了する

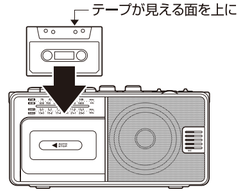
停止ボタンを押すと録音を終了します。
また、テープが終わるとオートストップ機能が働き録音が自動停止します。
（録音は片面ずつの操作になります。）

<内蔵マイクで録音する場合>

1 機能切換スイッチを「テープ」に合わせます。

2 録音するカセットテープを入れる

テープを聴く2の手順同様に、テープを入れます。



※ノーマルポジションテープをお使いください。
※マイクを音源に近接させてください。

3 録音ボタンを押して録音を開始する

本機の正面を録音する音源に向けてください。

※録音ボタンを押すと再生ボタンも一緒に下がります。

4 録音を終了する

停止ボタンを押すと録音を終了します。
また、テープが終わるとオートストップ機能が働き録音が自動停止します。
（録音は片面ずつの操作になります。）

※録音内容は上書きとなり、以前にテープに録音した内容は消去されます。

あなたが録音したものは、個人として楽しむ等の他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ご注意

- ・録音するときは、乾電池ではなく電源コードのご使用をおすすめいたします。
- ・録音レベルは自動的に設定されています。
  音量調整ダイヤルを回しても、録音されるテープには影響しません。
- ・録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りをしてください。
- ・録音されなかった場合の録音内容について当社は一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。
- ・テープ操作中は、開閉カバーを開けないでください。
- ・本機のスピーカーは防磁設計ではありません。
  テレビやパソコン等の近くには置かないでください。
- ・マイクの性能上、小さく録音される場合があります。
  マイクと音源の距離が離れたり、音源の音量が小さいと録音した音は小さくなり、ノイズが目立つようになります。講演、お稽古ごとやカラオケなどは、うまく録音されない場合があります。

大切な録音を守る-誤消去防止

テープのツメを折ると録音ができなくなるので、誤って録音内容を消してしまうミスが防げます。
穴をセロハンテープなどでふさげば、再び録音ができます。
※詳しくはカセットテープの説明書をご参照ください。

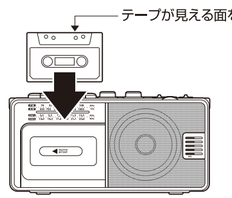
カセットテープを聴く

1 機能切換スイッチを「テープ」に合わせます。

※動作中のみ電源ランプが赤く点灯します。

2 カセットテープを入れる

停止 / 取り出しボタンを押して開閉カバーを開けカセットテープのたるみを取ってから、再生したい面を手前にし、テープが見える面を上にして入れます。



※ノーマルポジションテープをお使いください。
※60分を超えるテープは薄く伸びやすいテープのため、こきざみな再生、停止、早送り、巻き戻しなどを繰り返すとテープが機械に巻き込まれる場合がありますのでご注意ください。
※テープのたるみは鉛筆等で巻き取ってください。
たるんだまま使用すると、テープが機器に巻き込まれて故障の原因となったり、大切なテープを痛める場合があります。

3 再生する

再生ボタンを押して再生します。
テープを最後まで巻き取ると、自動的に止まります。
（オートストップ機能）

4 音量を調整する

音量調整つまみをまわして音量を調整します。

5 音質を調整する

お好みに合わせて聴きやすい位置に調整してください。

6 早送り・巻き戻しする

「早送り」または「巻き戻し」ボタンを押してテープを早送り・巻き戻しします。

※テープを巻き終えたら
停止 / 取り出しボタンを押してください。
早送り・巻き戻しの場合は自動で止まりません。

7 停止する

停止 / 取り出しボタンを押すと再生が止まります。

8 裏面を再生する

停止 / 取り出しボタンを押し開閉カバーを開けカセットテープを裏返して入れます。

※テープ操作中は、開閉カバーを開けないでください。
※本機のスピーカーは防磁設計ではありません。
テレビやパソコン等の近くには置かないでください。